

＊原則として過去1年間に刊行された文庫・新書

【戦後80年を超えて】

1月 塩出浩之『琉球処分』（中公新書、2025年6月）

2月 内務省研究会編『内務省 近代日本に君臨した巨大官庁』（講談社現代新書、2025年4月）

3月 波多野澄雄『日本終戦史 1944－1945 和平工作から昭和天皇の「聖断」まで』

（中公新書、2025年7月）

4月 将基面貴巳『反逆罪 近代国家成立の裏面史』（岩波新書、2024年11月）治安維持法100年

【哲学・思想・歴史】

5月 川瀬和也『ヘーゲル（再）入門』（集英社新書、2024年12月） 「流動の哲学」として読む

6月 伊藤邦武、山内志朗ほか編集『世界哲学史 別巻』（ちくま新書、2020年12月）

7月 小野正嗣『100分de名著 黒い皮膚・白い仮面』（NHK出版、2021年2月）

8月 鶴見太郎『ユダヤ人の歴史 古代の興亡から離散、ホロコースト、シオニズムまで』

（中公新書、2025年1月）

【社会】

9月 志村信幸『在野と独学の近代 ダーウィン、マルクスから南方熊楠、牧野富太郎まで』

（中公新書、2024年9月）

10月 白石正明『ケアと編集』（岩波新書、2025年4月）

11月 椎名美智『「させていただく」の使い方 日本語と敬語のゆくえ』（角川新書 2022年1月）

12月 森山高至『ファスト化する日本建築』（扶桑社新書、2025年4月）